



▲横田公園野球場

交通安全施設整備事業などの新規事業導入も進めていた。また、国・道・県道や河川等の各事業について、早期完成に向けた要望を行うとともに、要望の多い新規事業の事業化を強く要望してまいります。

なお、この度の補正予算では、来年度事業の前倒しとして、横田公園野球場と三成公園野球場トイレを改修するとともに、除雪力向上のため、除雪トラック等の機械整備を進めることとし、所要の経費を予算計上いたしました。

そのほか、土地開発公社に対する債務負担行為の解消を計画的に進めるため、公社が所有している土地の買い取り経費として五千万円を補正予算に計上いたしました。



平成25年 3月定例議会  
**町長施政方針**

**所信表明**

平成25年第1回定例会の開会にあたり、諸議案の説明に先立ちまして、当面の町政の課題に加え、町長就任以来の動向などにも触れながら、町政運営に臨む私の基本的な考え方を申し上げ、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

**■新政権の発足と経済対策**

まず、国政におきましては、昨年、安倍新政権が発足しました。政府は、「経済の再生」を最重要課題と位置付け、円高・デフレから脱却し、強い経済を取り戻すため、平成二十四年度当初予算と二十五年度当初予算を合わせた、切れ目のない経済対策を実施することとされました。

本町も、町内経済の活性化と町民生活の安定などを進めるため、今年度補正予算案と来年度当初予算案を今議会に提出いたしました。

**■予算の骨格**

来年度当初予算は、四月に町長選挙を控えていることから骨格予算としましたが、普通建設事業費のうち、引き続き中心に予算計上しております。今後、町民要望の多い道路事業の新規路線などを、六月の議会定例会においてご審議いただく予定です。また、予算編成に

**■水道事業**

簡易水道事業につきましては、住民生活に欠くことのない重要な施設であり、安全で安定的な水道水供給のため、施設の老朽化及び水量不足が生じている施設について、将来負担に留意しながら、順次整備を進めてきました。

来年度は、三成第二簡易水道及び三成簡易水道改良事業を継続実施いたします。

なお、今回の補正予算には、国の緊急経済対策により、三成簡易水道改良事業費及び馬木簡易水道統合事業費を計上いたしております。

**■下水道事業**

下水道事業は、生活環境の向上と水環境の保全を図るため、積極的に施策を進めた結果、平成二十三年で町内全ての集合処理区域の整備が完了いたしました。

来年度は、合併処理浄化槽の設置を四十五基計画しているほか、公共下水道などの集合処理施設の良好な維持管理と経費節減に努めながら、住環境リフォーム助成制度等を活用し、接続率の向上に努めてまいります。

なお、下水道料金につきましては、来年度から改定となり、ご理解をお願いいたします。

あつては、町民の主体的な活動の推進、幼保一元化・子育て支援の推進、地域資源活用による産業振興と雇用の確保などに重点的に配意した予算としており、義務的経費等は、年間予算として措置いたしました。

この結果、来年度当初予算の総額は、百三十四億八千万円、前年度に對し、十三億七千万円の減となっており、また、国の補正予算に呼応した事業など、一般会計で約十六億一千万円、簡易水道事業特別会計で約三億二千万円、来年度へ繰り越すこととしており、切れ目のない経済対策に努めてまいります。

**■消防・防災対策等**

昨年は、本町で開催された島根県消防操法大会において、小型ポンプの部で横田分団が優勝、布勢分団が準優勝、またポンプ車の部では八川分団

が優勝、三沢分団が第四位に入賞と、奥出雲町消防団は輝かしい成績を残されました。今年度は阿井分団が「小型ポンプの部」に、鳥上分団が「ポンプ車の部」に出場すること、が決まっております。二年連続の優勝（まとい）の獲得を期待してまいります。

消防設備の整備につきましては、今年度、小型動力ポンプ付普通積載車を亀嵩分団へ、軽積載車を布勢、三成、亀嵩の各分団に配備しましたが、今年度、国の補正予算を活用し、来年度に整備を予定していた耐震性貯水槽及び防災備蓄倉庫の整備を行うこととし、所要の経費を予算計上いたしました。

**■庁舎整備**

公共施設の耐震化・防災拠点の整備を図るため、今年度から仁多庁舎の改築に着手しておりますが、現在、町民ワークショップを開催するなど、基本設計に取り組んでいます。

**■地域活性化対策**

自主的な活動を行う各種団体に対するソフト事業の「住民提案型きらり輝く地域づくり事業」、また伝統文化や地域間交流活動などを支援する「地域活力創造事業」についても、継続実施することとしております。

町民自ら企画、実施する公益性のあるまちづくり活動として、多数の応募をお待ちしております。

また、尾原ダムさくらおろち湖の周辺地域活性化策については、ダム事業完成後、NPO等の住民団体により周辺環境や整備された施設を活用して、様々な取り組みが行われております。

**■農村整備**



▲佐白温泉 長者の湯

来年度の「県営中山間地域総合整備事業」は、圃場整備の実施地区の換地処分事務を中心に、若干の農地整備や農道整備の工事を行い、年度末には事業が完了する予定であります。

また、簡易な区画整備や暗渠排水、客土工事を行う「農業体質強化基盤整備促進事業」は、来年度から「農業基盤整備促進事業」に名称が変わりますが、継続的な事業の推進により、皆様方のご要望に添えてまいります。

そのほか、今年度採択された「県営丹波地区農地環境整備事業」は、来年度から本格的な工事着手が予定されているほか、「布勢地区県営上三所中村農道」は、今年度に概略ルートが決定したところであります。

**■社会基盤・生活基盤整備**

生活道路の整備につきましては、就任以来、ダム完成を見据え、尾原ダム関連町道の円滑な工事の進捗に努めるとともに、要望の多い生活道路の整備に重点的に取り組んできました。

来年度の道路事業につきましては、郡三成線、川東下垣内線などの継続事業を中心に引き続き生活道路の整備を行うとともに、測量設計等の準備が完了した三沢山根線等の改良工事に着手することとしております。

また、県事業につきましても、着手以来二十年の歳月を費やした横田多里線街路事業が平成二十三年に完了したほか、印賀奥出雲線中初工区改良事業や玉湯吾妻山線馬馳工

**■産業振興**

就任以来、農畜産物をはじめとする奥出雲ブランド製品の販売について、農商工の連携による高付加価値化や六次産業化を推進するとともに、常にトップセールスに努めてまいりました。

特に「仁多米コシヒカリ」については、全国米・食味分析鑑定コンクールにおいて、「奥出雲仁多米 株式会社」が総合部門で三年連続、通算四年度目の金賞を受賞するなど、全国ブランドの逸品として高く評価されたところであり、引き続き、本町の豊かな自然と恵まれた風土を最大限に活かして、堆肥施用など地域特有の資源を無駄なく循環させる、環境に優しい循環型農業の取り組みを推進してまいります。

また、仁多米ブランドを支えている仁多堆肥センターの機械整備及び施設改修については、事業の一部を繰り越しておりますが、四月末の事業完了を予定しており、安定した完熟堆肥製造や散布体制の整備拡充が図られるものと期待しております。

**■水稲生産調整**

島根県における水稲の生産調整は、平成二十三年産米から配分ルールが大きく見直されたところであり、現